

後輩たちへのエール！ その44

2020年9月24日

「やりたいこと」に正直に ～国際教養大学での学びを通して～

◇今回は、服部圭祐さん（国際教養大学卒、メーカー勤務）をお送りします！

はじめまして！私は2013年3月に関高を、2018年3月に国際教養大学（通称AIU）を卒業しました。現在はメーカーで働いており、社会人3年目です。AIUといえば、国際系の大学を志望されている方はご存じだと思いますが、一般的にはあまり知名度はないかなと思います。すごくニッチな大学ですが、私がAIUを目指した経緯と、AIUでの生活を通して得た学びを紹介しますので、進路選択の参考になる方がいればいいなと思います！

高校時代

・恩師との出会い

関高に入学するまでは、私の英語の成績はお世辞にも良いとはいえず、疑問文になると主語と動詞が入れ替わっちゃうこともしばしばでした（さすがに受験までには何とかしたはず笑）。しかし1年生の時の担任が英語の先生で、授業中に発言したらすごく褒めてくれたのを覚えています。単純だった私は英語だけとはとにかく勉強し、片言の言葉が通じた時のちょっとした快感にのめりこんでいきました。いつの間にか英語はだれにも負けたくない、将来は英語を使って仕事がしたいと思うようになっていました。きっかけをくれたその先生には感謝してもしきれないです。

・AIUとの出会い

高1の冬、たまたま母親が見ていたテレビでAIUが取り上げられていました。「すべての授業を英語で行う」、「1年間の海外留学が必須」、「留学生とのルームシェア」といった、当時の日本の大学にはないユニークな教育方針が紹介され、ここでなら英語がペラペラになれるんじゃないか！？と思い、この瞬間から第一希望になりました。

大学時代

・授業に悪戦苦闘の日々

いざ入学すると、7割の学生は私と同じように海外経験のない生徒でしたが、3割は帰国子女や留学経験がありました。彼らや先生が話すスピードは当時の私からしたら圧倒的に早く、高校の授業でできる気になっていた私はとても不安でしたが、AIU教授陣の手厚いサポートと膨大な宿題（笑）のおかげですぐに慣れていきました。クラスメイトみんなで図書館にこもって徹夜をして、きつかったですがみんなで励ましあったから頑張れたと思います！

・ AIU 生はみんな家族??

AIU が AIU たる最大のポイントは、学生のほとんどが学内の寮やアパートに暮らしているということだと思います。学校の敷地は 5 分もあれば端から端へ歩けるので、みんなと一緒に暮らしているようなものです。1 年生は全員寮生活なので、半年もあれば同級生全員の顔と名前は覚えられるくらいには距離が近いですよ！良くも悪くも噂は全部広がります(笑)。

・ 課外活動にも全力投球

AIU 生はバイタリティの塊みたいな人が多く、サークルやバイトをいくつも掛け持ちするなど、勉強以外にもやりたいことがたくさんある人が向いていると思います。私も例に漏れず、1 年生の時は同級生 20 人ほどを集めてフードロスをなくすための NGO を作ったり、夏休みに国際交流プログラムに行ったりしていました。その後も国民文化祭が秋田で開かれた年にオープニングイベントのミュージカルに出演したり、アカペラに打ち込んで TV 番組のハモネプに出演しちゃったりと、やりたいことは何でも飛び込んでやってきました。

・ 夢の留学生活

AIU を卒業するためには 1 年間の留学が必須です。世界中にある留学先候補の中から希望を出し、成績によって抽選が行われて派遣先が決まります。私は成績がパツとしなかったので、アメリカのメリーランド州のド田舎になりました。空港から 2 時間、ひたすら道路が続く道を車でひた走ったところにポツンとキャンパスがあります。アメリカの田舎、舐めちゃいけないですね(笑)。いざ授業が始まると、AIU 以上に話すスピードが速くてついていく



キャンパスライフを彩ってくれたアカペラサークルのみんなと。



某 TV 局のスタジオ入り口にてバンドメンバーと。芸能人にもたくさん会いました(笑)。

のがやっとなのですが、授業後に教授に質問して食らいつき、全部単位を持って帰ってきました！祝！！ほかにもアカペラサークルに入ってみんなで歌ったり、授業後に友達とご飯を食べたり、それなりにキャンパスライフを楽しんでいました。待ちに待った冬休みにはニューヨークに 3 週間、トロントに 1 週間ステイして夢の海外都会生活を満喫していました(笑)。とても輝いているように聞こえますが、やっぱり言語も文化も違う国で長期滞在するのは堪えましたね…。ホームシックをこじらせて授業に行けなくなる期間もありました。生まれて初めてカウンセリングを受けて、劇的に気持ちが復活したのを覚えています。カウンセラーに話を聞くとところによると、アメリカ人は元気な人でも、元気な状態を維持するためにカウンセリングを利用する人が多いそうです。留学を予定している人は、現地の大学に着いたらまず最初にカウンセ

リングルームに行ってみることを本気でお勧めします！

最後に

ここまで特にまとまりなく、AIUの魅力と私の大学生活を振り返って書きましたが、この経験を通して一番大切だと思うのは、自分の「やりたいことに正直になる」ことです。やりたいことがあるけど勇気が出ないことももちろんありました。ですが、AIUには背中を押してくれる仲間がたくさんいたからこそ、失敗を恐れずに挑戦できたと思います。学生のうちは失うものなどありません。社会人になってからも、結婚するまでは何も恐れることはない気がしています(笑)。年を取ってから、「あの時やっておけばよかった…」なんて思いたくないですよ。海外や英語に興味を持っていて、そんなマインドを持った人にはAIUを是非目指してほしいと思います！もちろん、そうでない人も「やりたいこと」を高校生活でじっくりと考えて進路を選ぶといいと思います。拙い文章でしたが最後まで読んでいただき、ありがとうございました。何かのきっかけになればうれしいです。



NYのタイムズスクエアの年越しイベント=14時間トイレ我慢耐久戦(笑)。